

STARFAX[®] *Server SDK*

VB 開発向け OCX リファレンス

おことわり

- ・本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することは、法令に別段の定めがある場合を除き、固く禁じられています。
- ・本書の内容は、本製品の改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して制作しておりますが、万一わかりにくい点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、メガソフト株式会社サポートセンターまでご連絡ください（本書の内容と現実が異なるときは、現実が本書に優先します）。
- ・本製品を使用したことによるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品をご使用になるには、製品パッケージ同梱の「ソフトウェア使用許諾条項」にご同意いただく必要があります。

商標について

- ・STARFAX はメガソフト株式会社の登録商標です。
- ・その他、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

STARFAX Server SDK の OCX（ActiveX）コントロールを利用したユーザープログラムの開発を行う上で、必要な操作方法などを収録のサンプルプログラムを用いて解説しています。
本マニュアルでは、Visual Basic 6.0 を開発ツールを主に説明しています。

STARFAX Server SDK に収録しているマニュアル一覧

・セットアップマニュアル

STARFAX Server SDK のセットアップ、環境設定や各種機能について説明しています。
STARFAX Server SDK をご使用前に必ずご一読ください。

・ファイル de F A X マニュアル

STARFAX Server SDK の FAX 送受信は、STARFAX Server SDK が定めた書式のファイルを所定のフォルダに作成することで行ない、この仕組みを「ファイル de F A X」といいます。
「ファイル de F A X」で使用する各種ファイルの書式や、ファイルの取り扱いについて説明しています。

・VB（Visual Basic）開発向けマニュアル

Visual Basic を開発ツールとして、STARFAX Server SDK を利用するプログラムの作成の際には、以下のマニュアルをご参照ください。

- ・VB 開発向け OCX プログラミングマニュアル
- ・VB 開発向け OCX リファレンスマニュアル（本書）
- ・VB 開発向け プリンタドライバとビューア プログラミング&リファレンスマニュアル
- ・VB 開発向け クライアント送信プログラミングマニュアル

・VC（Visual C++）開発向けマニュアル

Visual C++ を開発ツールとして、STARFAX Server SDK を利用するプログラムの作成の際には、以下のマニュアルをご参照ください。




- ・VC 開発向け プログラミングマニュアル
- ・VC 開発向け プリンタドライバとビューア プログラミング&リファレンスマニュアル
- ・VC 開発向けクライアント送信 プログラミングマニュアル

マニュアルでの表記

メニュー・設定項目などの表記

表記例	説 明
「メニュー名」 「フォルダ名」 「ファイル名」	メニュー名やファイル名、フォルダ名は「」で囲んであります。
[OK][キャンセル]	ボタン名は□で囲んであります。
①②③…	操作手順の順番を表します。

本書で使用するアイコン

アイコン	説 明
 メモ	使用上の補足事項を説明しています。
	関連情報が掲載されているページを示しています。 マニュアル名がない場合は、本書内のページです。
 注意	使用にあたっての注意点を記載しています。

ご使用になる前に

STARFAX Server SDK OCX コントロールを使った開発を行う前に、STARFAX Server SDK のセットアップや基本設定を行う必要があります。
はじめに、以下の点をご確認ください。

[1] STARFAX Server SDK の準備

動作環境を確認する

STARFAX Server SDK をインストールするパソコンの動作環境をご確認ください。
特に対応 OS 以外では、インストールができて正常に動作しない場合があります。
➡「セットアップマニュアル」P5「ご利用前にご確認いただくこと」

STARFAX Server SDK のセットアップ

STARFAX Server SDK 本体のプログラムをセットアップします。
➡「セットアップマニュアル」P9「セットアップする」

[2] STARFAX Server SDK の設定

STARFAX Server SDK の基本設定を行う

FAX の送受信を実際に行うためには、STARFAX Server SDK の基本設定を行い、サービスを開始します。
➡「セットアップマニュアル」P16「FAX モデムと、送受信のための設定」
「セットアップマニュアル」P21「STARFAX Server SDK のサービスを開始 / 停止する」

[3] OCX プログラムでできること

STARFAX Server SDK OCX の基本的な動作について説明します。

• STARFAX Server SDK へ動作を指示する

FAX の送信

FAX 情報の削除

指定した送受信結果を削除します。

ファイルの印刷

指定したファイルを印刷します。

メールの送信

宛先、件名、添付ファイルなどを指定してメール送信します。

• STARFAX Server SDK の情報を参照、取得する

FAX 情報

送受信ログの情報を参照します。

FAX 情報の追加、削除状況

送受信ログに追加、削除された差分情報を参照、取得します。

STARFAX Server SDK の各種情報

宛 TARFAX Server SDK の起動状況や、バージョン情報を参照します。

STARFAX Server SDK の状況を知る

STARFAX Server SDK の設定、動作状況を取得します。

サンプルプログラム【MonEnv.exe】

●保存場所

※下表の「保存する場所」の< OS フォルダ>部分は、お使いの Windows により異なります。

< Windows 8、7、Vista、Server 2012/2012 R2、2008 /2008 R2 >

C:\Users\¥Public¥Documents

< Windows XP、Server 2003 /2003 R2 >

C:\Documents and Settings\¥All Users¥Documents

プログラム	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥MonEnv.exe
開発プロジェクト	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥MonEnv¥

●サンプルプログラムの仕様

必須情報	STARFAX Server SDK のサービスを開始します。
回線	サンプルプログラムでは、回線 1~4 までの状況のみ表示しています。

●操作方法

① STARFAX Server SDK のサービスを開始します。

➡「セットアップマニュアル」P21


② サンプルプログラム「MonEnv.exe」を実行します。

③ 以下情報を参照します。

- [1] サービス
サービスの動作状況を表示します。
- [2] バージョン
STARFAX Server SDK のバージョン情報を表示します。
- [3] 自動削除
STARFAX Server SDK のログの自動削除設定状況を表示します。
- [4] 回線
設定している回線のモデムドライバ、送受信設定状況を表示します。
- [5] 警告
STARFAX Server SDK で発生しているイベント情報を表示します。
- [6] 更新ボタン
最新の情報に更新します。



SFCSEnv コントロール メソッド一覧

メソッド名	詳 細
CheckInstall	STARFAX Server SDK のインストール状況、レジストリ、各種フォルダの状況を確認します。
CheckSubFolder	コントロール、データフォルダのサブフォルダの状況を確認します。
CheckServiceStatus	サービスの動作状況を確認します。
GetSfcsFolder	インストールフォルダのパスを取得します。
GetCtrlFolder	コントロールフォルダのパスを取得します。
GetDataFolder	データフォルダのパスを取得します。
GetSubFolder	コントロールフォルダ、データフォルダ内のサブフォルダのパスを取得します。
GetRunInfoString	起動情報ファイル内の項目を指定して、文字列の情報を取得します。 ➡  「STARFAX Server SDK ファイル de FAX」 P22
GetRunInfoInt	起動情報ファイル内の項目を指定して、数値の情報を取得します。

メソッドの仕様

[SFCSEnv] コントロールの各メソッドの仕様について説明します。

CheckInstall メソッド

■ 構文

```
Function CheckInstall() as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK のインストール、レジストリの登録情報、各フォルダ状況を確認します。

■ 引数

なし

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	インストールされています。 SFCSENV_SUCCESS
1	インストールフォルダがレジストリに設定されていません。 SFCSENV_ERR_NoRegInstall
2	インストールフォルダが存在しません。 SFCSENV_ERR_NoInstall
3	コントロールフォルダがレジストリに設定されていません SFCSENV_ERR_NoRegCtrl
4	コントロールフォルダが存在しません。 SFCSENV_ERR_NoCtrl
5	データフォルダがレジストリに設定されていません。 SFCSENV_ERR_NoRegData
6	データフォルダが存在しません。 SFCSENV_ERR_NoData

■ 参照モジュール

SFCSEnvDef.bas

CheckSubFolder メソッド

■ 構文

```
Function CheckSubFolder( Mode As Long           // 確認するサブフォルダを指定 ) as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK のコントロールフォルダ、データフォルダの指定されたサブフォルダの状況を確認します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Mode	"SFCSENV_SMODE_SENDEMIS"	状況を確認するサブフォルダを指定します。
		SFCSENV_SMODE_SENDEMIS (0) 送信命令フォルダ
		SFCSENV_SMODE_RECVINFO (1) 受信情報フォルダ
		SFCSENV_SMODE_SENDINFO (2) 送信情報フォルダ
		SFCSENV_SMODE_QUEINFO (3) 未送信情報フォルダ
		SFCSENV_SMODE_RECVDELMIS (4) 受信情報削除命令フォルダ
		SFCSENV_SMODE_SENDELDEMIS (5) 送信情報削除命令フォルダ
		SFCSENV_SMODE_QUEDELMIS (6) 未送信情報削除命令フォルダ
		SFCSENV_SMODE_PRTMIS (7) 印刷命令フォルダ
		SFCSENV_SMODE_EMSMIS (8) メール送信命令フォルダ
		SFCSENV_SMODE_RECVADDNOTI (9) 受信情報追加済み通知フォルダ
		SFCSENV_SMODE_SENDADDNOTI (10) 送信情報追加済み通知フォルダ
		SFCSENV_SMODE_RECVDELNOTI (11) 受信情報削除済み通知フォルダ
		SFCSENV_SMODE_SENDELNOTI (12) 送信情報削除済み通知フォルダ

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	存在します。 SFCSENV_SUCCESS
3	コントロールがレジストリに設定されていません。 SFCSENV_ERR_NoRegCtrl
4	コントロールフォルダが存在しません。 SFCSENV_ERR_NoCtrl
7	フォルダが存在しません。 SFCSENV_ERR_NoFolder
100	パラメータエラー：サブフォルダの指定に誤りがあります。 SFCSENV_ERR_PARAM_MODE

■ 参照モジュール

SFCSEnvDef.bas

CheckServiceStatus メソッド**■ 構文**

```
Function CheckServiceStatus() as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK のサービス稼働状況を取得します。

■ 引数

なし

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	停止中 SFCSENV_SERVICE_STOP
1	サービスモード動作中 SFCSENV_SERVICE_SERVICE
2	非サービスモード動作中 SFCSENV_SERVICE_TRAY

■ 参照 モジュール

SFCSEnvDef.bas

GetSfcsFolder メソッド**■ 構文**

```
Function GetSfcsFolder( Get As String // フォルダパスを格納するための変数 ) as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK のプログラムフォルダのパスを取得します。
※パスの最後に「¥」はつきません

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Get		インストールフォルダパスを格納するための変数

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSENV_SUCCESS
0 以外	取得失敗 SFCSENV_SUCCESS 以外

■ 参照 モジュール

SFCSEnvDef.bas

GetCtrlFolder メソッド**■ 構文**

```
Function GetCtrlFolder( Get As String           // フォルダパスを格納するための変数           ) as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK のコントロールフォルダのパスを取得します。

※パスの最後に「¥」はつきません

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Get		コントロールフォルダのパスを格納するための変数

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSENV_SUCCESS
0 以外	取得失敗 SFCSENV_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSEnvDef.bas

GetDataFolder メソッド**■ 構文**

```
Function GetDataFolder( Get As String           // フォルダパスを格納するための変数           ) as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK のデータフォルダのパスを取得します。

※パスの最後に「¥」はつきません

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Get		データフォルダのパスを格納するための変数

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSENV_SUCCESS
0 以外	取得失敗 SFCSENV_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSEnvDef.bas

GetSubFolder メソッド

■ 構文

```
Function GetSubFolder( Mode As Long,           // 情報を取得するフォルダを指定
                      Get As String          // フォルダパスを格納するための変数
                      ) as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK のサブフォルダを指定して、そのフォルダパスを取得します。
 ※パスの最後に「¥」はつきません

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Mode	"SFCSENV_SMODE_SENDEMIS"	状況を確認するサブフォルダを指定します。 SFCSENV_SMODE_SENDEMIS (0) 送信命令フォルダ SFCSENV_SMODE_RECVINFO (1) 受信情報フォルダ SFCSENV_SMODE_SENDINFO (2) 送信情報フォルダ SFCSENV_SMODE_QUEINFO (3) 未送信情報フォルダ SFCSENV_SMODE_RECVDELMIS (4) 受信情報削除命令フォルダ SFCSENV_SMODE_SENDELDEMIS (5) 送信情報削除命令フォルダ SFCSENV_SMODE_QUEDELMIS (6) 未送信情報削除命令フォルダ SFCSENV_SMODE_PRTMIS (7) 印刷命令フォルダ SFCSENV_SMODE_EMSMIS (8) メール送信命令フォルダ SFCSENV_SMODE_RECVADDNOTI (9) 受信情報追加済み通知フォルダ SFCSENV_SMODE_SENDADDNOTI (10) 送信情報追加済み通知フォルダ SFCSENV_SMODE_RECVDELNOTI (11) 受信情報削除済み通知フォルダ SFCSENV_SMODE_SENDELDELNOTI (12) 送信情報削除済み通知フォルダ
Get		データフォルダのパスを格納するための変数

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSENV_SUCCESS
0 以外	取得失敗 SFCSENV_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSEnvDef.bas

GetRunInfoString メソッド

■ 構文

```
Function GetRunInfoString (Section As String, // セクション名を指定
                          Key As String,     // 項目名を指定
                          Default As String, // デフォルト文字列
                          Get As String      // 文字列を格納するための変数
                          ) as Long
```

■ 解説

STARFAX Server SDK の起動情報ファイルから、セクション名、項目を指定して情報を取得します。
起動情報ファイル

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Section	"StarFax"	情報を取得するセクション名を指定します。
Key	"Acount"	情報を取得する項目名を指定します。
Default		指定したパラメータ「Section」「Key」が存在しなかった場合、どういう値を返すか（デフォルトとすべきか）を指定します
Get		文字列を格納するための変数

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSENV_SUCCESS
0 以外	取得失敗 SFCSENV_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSEnvDef.bas

FAX を送信する

STARFAX Server SDK で FAX 送信をするには、相手先に送信する「送付状」または「FAX 原稿」と、送信先の情報と送信するファイルの場所を各メソッドで指定します。
プログラム例をサンプルプログラムのソースファイルをもとに説明します。

サンプルプログラム【SendFax.exe】

●保存場所

※下表の「保存する場所」の< OS フォルダ >部分は、お使いの Windows により異なります。

< Windows 8、7、Vista、Server 2012/2012 R2、2008 /2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents

< Windows XP、Server 2003 /2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents

プログラム	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥SendFax.exe
開発プロジェクト	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥SendFax¥

●サンプルプログラムの仕様

必須情報	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先の FAX 番号 ・送付状、または FAX 原稿のファイル
相手先	最大 4 件まで指定可能
送付状	テキスト形式のファイル ➡「送付状を作成する」P7
原稿	最大 4 つのファイルまで指定可能 送信時に 1 ファイルに連結します。 ➡「送信原稿を指定する」
発信元情報	発信元情報を指定します。 ページヘッダを使用する、相手先に表示させる FAX ID 番号を設定できます。
その他指定	送信する回線の指定（複数回線制御時に有効）、割り込み送信、時間指定送信を指定できます。

●操作方法

- ① STARFAX Server SDK のサービスを開始します。
➡「セットアップマニュアル」P21
- ② サンプルプログラム「SendFax.exe」を実行します。
- ③ 以下の設定を行います。

[1] 相手先

FAX を送信する相手の情報を入力します。
FAX 番号は必須です。
他の項目は送付状やページヘッダ情報を使用する際に必要となります。
サンプルプログラムでは画面上部のプルダウンメニューをクリックすることで、最大 4 件の相手先情報を入力できます。

[2] 原稿

相手先に送信する FAX 原稿のファイルパスを指定します。
サンプルプログラムでは最大 4 ファイルまで指定できます。
送信する際に指定したファイルを 1 ファイルにコンバートし、保存します。
※送付状を指定しない場合は、必ず原稿を指定します。

[3] 送付状

送付状を指定します。
フォントの形式、サイズを指定できます。
[1] で入力した会社名などの情報が指定した送付状内に差し込まれます。
※原稿を指定しない場合は、必ず送付状を指定します。

[4] 発信元情報

送付状や、ページヘッダ情報に差し込む送り元の情報を設定します。

[5] その他指定

発信する回線、送信を実行する時刻の指定や他の FAX より優先させる設定を行います。

- ④ [6] 送信ボタンを押下し、設定した内容で FAX の送信命令を確定します。
送信結果は、ログ管理プログラムで確認します。

➡  「セットアップマニュアル」 P22

SFCSSendFax コントロール メソッド一覧

メソッド名	詳 細
AddSendInfo	相手先情報リスト 追加設定
AddSendInfoEx	相手先情報リスト 追加設定 (送信オプション拡張版)
ResetSendInfo	相手先情報リスト リセット
AddDocInfo	送信原稿リスト 追加設定
ResetDocInfo	送信原稿リスト リセット
SetDocInfoParam	相手先情報動作パラメータ設定
MakeSendMission	FAX 送信命令ファイル作成し、STARFAX Server SDK に送信を指示
MakeSendMissionEx	送付状をつけて FAX 送信する際に使用
MakeSendMissionToSharedFolder	共有フォルダ形式の送信命令ファイル作成
MakeTransFileForMailToFax	[メール de FAX] の送信命令ファイル作成
SetupPrinter	FAX 送信用の TIFF ファイルの作成準備
TerminatePrinter	FAX 送信用の TIFF ファイルの作成終了

メソッドの仕様

[SFCSSendFax] コントロールの各メソッドの仕様について説明します。

AddSendInfo メソッド

解説

FAX を送信する相手先の情報を指定します。
その他 通信する際の速度、圧縮方式、エラー訂正機能の有無を指定できます。

構文

```
Function AddSendInfo( Fax As String,      // 相手先 FAX 番号
                    Company As String,    // 相手先 会社名
                    Division As String,   // 相手先 所属名
                    Position As String,   // 相手先 役職名
                    Name As String,       // 相手先 氏名
                    Title As String,      // 敬称
                    Telephone As String,  // 相手先 電話番号
                    ZipCode As String,   // 相手先 郵便番号
                    Address1 As String,   // 相手先 住所 1
                    Address2 As String,   // 相手先 住所 2
                    FCode As String,     // F コードの設定
                    FreeArea As String,  // ユーザーフリーエリア
                    Speed As Integer,     // 通信速度の指定
                    Comp As Integer,      // 圧縮方式の指定
                    Ecm As Integer       // エラー訂正機能の指定
) as Long
```

パラメータ

パラメータ	値	説 明
Fax	"01-1234-5678"	FAX 番号を指定します
Company	"MEGASOFT"	会社名を指定します
Division	" 営業部 "	所属名を指定します
Position	" ●●担当 "	役職名を指定します
Name	" メガ 太郎 "	氏名を指定します
Title	" 様 "	敬称を指定します
Telephone	"02-1234-5678"	電話番号を指定します
ZipCode	"123-4567"	郵便番号を指定します
Address1	"(住所 1) "	住所 1 を指定します
Address2	"(住所 2) "	住所 2 を指定します
FCode	"(F コード) "	F コード番号を指定します
FreeArea	" "	ユーザが自由に利用できるエリア
Speed	SFCSSENDFAX_SPEED_AUTO	通信速度を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSSENDFAX_SPEED_AUTO (0) 自動 SFCSSENDFAX_SPEED_HIGHT (1) 高速 SFCSSENDFAX_SPEED_MIDDLE (2) 中速 SFCSSENDFAX_SPEED_LOW (3) 低速

パラメータ	値	説 明
Comp	SFCSENDFAX_COMP_AUTO	圧縮方式を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSENDFAX_COMP_AUTO (0) 自動 SFCSENDFAX_COMP_MH (1) MH SFCSENDFAX_COMP_MR (2) MR SFCSENDFAX_COMP_MMR (3) MMR
Ecm	SFCSENDFAX_ECM_AUTO	エラー訂正を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSENDFAX_ECM_AUTO (0) 自動 SFCSENDFAX_ECM_ENABLE (1) 利用する SFCSENDFAX_ECM_DISABLE (2) 利用しない

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSENDFAX_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSENDFAX_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSSendFaxDef.bas

AddSendInfoEX メソッド

■ 解説

送信する FAX の相手先情報を指定します。
その他 通信する際の速度、圧縮方式、エラー訂正機能、送信する時刻、回線、優先順位が指定できます。

■ 構文

```
Function AddSendInfoEX(Fax As String,           // 相手先 FAX 番号
                      Company As String,        // 相手先 会社名
                      Division As String,       // 相手先 所属名
                      Position As String,       // 相手先 役職名
                      Name As String,          // 相手先 氏名
                      Title As String,         // 敬称
                      Telephone As String,     // 相手先 電話番号
                      ZipCode As String,       // 相手先 郵便番号
                      Address1 As String,      // 相手先 住所 1
                      Address2 As String,      // 相手先 住所 2
                      FCode As String,         // F コードの設定
                      FreeArea As String,      // ユーザーフリーエリア
                      Speed As Integer,        // 通信速度の指定
                      Comp As Integer,         // 圧縮方式の指定
                      Ecm As Integer,          // エラー訂正機能の指定
                      Line As Integer,         // 送信する回線の指定
                      Priority As Integer,      // 優先度の指定
                      Time As String           // 送信開始時刻の指定
) as Long
```

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Fax	"01-1234-5678"	FAX 番号を指定します
Company	"MEGASOFT"	会社名を指定します
Division	" 営業部 "	所属名を指定します
Position	" ●●担当 "	役職名を指定します
Name	" メガ タロウ "	氏名を指定します
Title	" 様 "	敬称を指定します
Telephone	"02-1234-5678"	電話番号を指定します
ZipCode	"123-4567"	郵便番号を指定します
Address1	"(住所 1) "	住所 1 を指定します
Address2	"(住所 2) "	住所 2 を指定します
FCode	"(F コード) "	F コード番号を指定します
FreeArea	" "	ユーザが自由に利用できるエリア
Speed	SFCSENDFAX_SPEED_AUTO	通信速度を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSENDFAX_SPEED_AUTO (0) 自動 SFCSENDFAX_SPEED_HIGH (1) 高速 SFCSENDFAX_SPEED_MIDDLE (2) 中速 SFCSENDFAX_SPEED_LOW (3) 低速
Comp	SFCSENDFAX_COMP_AUTO	圧縮方式を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSENDFAX_COMP_AUTO (0) 自動 SFCSENDFAX_COMP_MH (1) MH SFCSENDFAX_COMP_MR (2) MR SFCSENDFAX_COMP_MMR (3) MMR
Ecm	SFCSENDFAX_ECM_AUTO	エラー訂正を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSENDFAX_ECM_AUTO (0) 自動 SFCSENDFAX_ECM_ENABLE (1) 利用する SFCSENDFAX_ECM_DISABLE (2) 利用しない
Line	SFCSENDFAX_LINE_NO	
Priority	SFCSENDFAX_PRIORITY_NO	優先度を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSENDFAX_PRIORITY_NO 指定なし※初期値 8 SFCSENDFAX_PRIORITY_0 優先度低 SFCSENDFAX_PRIORITY_1 SFCSENDFAX_PRIORITY_2 SFCSENDFAX_PRIORITY_3 ↑ SFCSENDFAX_PRIORITY_4 SFCSENDFAX_PRIORITY_5 SFCSENDFAX_PRIORITY_6 SFCSENDFAX_PRIORITY_7 SFCSENDFAX_PRIORITY_8 標準 SFCSENDFAX_PRIORITY_9 SFCSENDFAX_PRIORITY_10 SFCSENDFAX_PRIORITY_11 SFCSENDFAX_PRIORITY_12 ↓ SFCSENDFAX_PRIORITY_13 SFCSENDFAX_PRIORITY_14 SFCSENDFAX_PRIORITY_15 優先度高
Time	"201302081030"	送信開始時刻の指定 左は「2013 年 2 月 8 日 10 : 30」を指定した場合の値 "YYYY(年) MM(月) DD(日) MM(時) SS(分)"

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSEND FAX_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSEND FAX_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSSendFaxDef.bas

ResetSendInfo メソッド

■ 構文

```
Sub ResetSendInfo()
```

■ 解説

MakeSendMission メソッド実行時、相手先情報リストをリセットします。

■ 引数

なし

■ 戻り値

なし

AddDocInfo メソッド

■ 構文

```
Function AddDocInfo( DocName As String // 送信原稿のファイルパス ) as Long
```

■ 解説

相手先に送信する原稿を指定します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
DocName As String	"C:¥Genkou¥Page1.tiff"	送信原稿のファイルパス

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSEND FAX_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSEND FAX_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSSendFaxDef.bas

ResetDocInfo メソッド**■ 構文**

```
Sub ResetDocInfo()
```

■ 解説

MakeSendMission メソッド 実行時、セットされている送信原稿リストをリセットします。

■ 引数

なし

■ 戻り値

なし

AddDocInfo メソッド**■ 構文**

```
Function SetDocInfoParam( Param As Integer // 処理後、送信原稿を削除 ) as Long
```

■ 解説

送信後、FAX 原稿の削除有無を設定します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Param	SFCSENDFAX_DOCPAPAME_NO	処理後、送信原稿の削除有無を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCSENDFAX_DOCPAPAME_NO (0) 指定なし SFCSENDFAX_DOCPAPAME_DELETE (1) 処理後、削除する

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSENDFAX_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSENDFAX_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSSendFaxDef.bas

MakeSendMission メソッド

■ 構文

```
Function MakeSendMission( CoverName As String, // 送付状のファイルパス
                          UserInfo As String,  // 発信元情報の記録
                          UserID As String,    // 自局番号 (FAXID)
                          Acount As String     // アカウント (フリーエリア)
                          ) as Long
```

■ 解説

指定した相手先情報、送信原稿などから FAX 送信命令ファイルを作成します。
送信時の各種設定は以下のメソッドで行います。

- AddSendInfo / AddSendInfoEx メソッド
- AddDocInfo メソッド
- SetDocInfoParam メソッド

■ 引数

パラメータ	値	説 明
CoverName	"C:¥Soufujo¥Cover.txt"	送付状ファイル名
UserInfo	"1,%S %N"	<p>ページヘッダー情報を指定します。 指定方法： "< 記録位置 >,< 差し込む情報 >"</p> <p>以下の値が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 記録位置 <ul style="list-style-type: none"> 0 : 記録しない 1 : 原稿の内側に記録 2 : 原稿の外側に記録 • 差し込む情報 (最大 70 バイトまで) 以下の値を入力すると、相手先情報が反映されます。 % S : 相手先会社名 % N : 相手先氏名 (敬称は自動で付加されます) % T : 相手先 FAX 番号
UserID	"06 1234 5678"	<p>FAX ID(相手機に通知されます)を設定します。 「半角数字」「半角スペース」「+」を使用できます。 ※最大 20 バイトまで</p>
Acount	"0000001"	<p>アカウント 自由に利用できるエリア ログに情報が引き継がれます。任意の情報を入力して、検索するといったことが可能です。</p>

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSEND FAX_SUCCESS
1	送信命令フォルダが存在しません SFCSEND FAX_ERR_NoMisFolder
2	送信命令フォルダの取得に失敗しました SFCSEND FAX_ERR_GetMisFolder
3	一時フォルダの取得に失敗しました SFCSEND FAX_ERR_GetTempFolder
4	一時ファイルの取得に失敗しました SFCSEND FAX_ERR_GetTempFile

戻り値	説 明
5	送信命令ファイル名の作成に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_MakeMisName
100	送信命令ファイル作成情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO
101	相手先情報がセットされていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDNUM
102	相手先情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO
103	FAX 番号が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX
104	送信原稿ファイル、送付状ファイルが指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCorCOVER
105	送信原稿ファイル名が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCNAME

■ 参 照 モ ジ ュ ー ル

SFCSSendFaxDef.bas

MakeSendMissionEX メソッド

■ 構 文

```
Function MakeSendMissionEX( CoverName As String, // 送付状のファイルパス
                           FontName As String,  // 送付状のフォント指定
                           FontSize As Integer, // 送付状のフォントサイズ指定
                           UserInfo As String,  // ページヘッダ情報の指定
                           UserID As String,    // 自局番号 (FAXID)
                           Acount As String     // アカウント (フリーエリア)
                           ) as Long
```

■ 解 説

指定した相手先情報、送信原稿などから FAX 送信命令ファイルを作成します。
送付状のフォント名、サイズが指定できます。
送信時の各種設定は以下のメソッドで行います。

- AddSendInfo / AddSendInfoEx メソッド • AddDocInfo メソッド
- SetDocInfoParam メソッド

■ 引 数

パラメータ	値	説 明
CoverName	"C:¥Soufujyo¥Cover.txt"	送付状ファイルパス
FontName	"MSP ゴシック "	送付状のフォント名 指定がない場合は "MS ゴシックです "
FontSize	"10"	送付状のフォントサイズ (初期値: 10 ポイント) 8 ~ 72 ポイント内で指定します。 それ以外の数値を指定した場合 10 ポイントで設定されます。

パラメータ	値	説 明
UserInfo	"1, メガソフト株式会社 "	<p>ページヘッダー情報を指定します。 指定方法： "< 記録位置 >,< 差し込む情報 >" 以下の値が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録位置 <ul style="list-style-type: none"> 0 : 記録しない 1 : 原稿の内側に記録 2 : 原稿の外側に記録 ・ 差し込む情報 (最大 70 バイトまで) 以下の値を入力すると、相手先情報が反映されます。 % S : 相手先会社名 % N : 相手先氏名 (敬称は自動で付加されます) % T : 相手先 FAX 番号
UserID	"06 1234 5678"	<p>FAX ID(相手機に通知されます) を設定します。 「半角数字」「半角スペース」「+」を使用できます。 ※最大 20 バイトまで</p>
Acount	"0000001"	<p>アカウント 自由に利用できるエリア ログに情報が引き継がれます。任意の情報を入力して、検索するといったことが可能です。</p>

戻り値

戻り値	説 明
0	<p>正常終了 SFCSENDFAX_SUCCESS</p>
1	<p>送信命令フォルダが存在しません SFCSENDFAX_ERR_NoMisFolder</p>
2	<p>送信命令フォルダの取得に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_GetMisFolder</p>
3	<p>一時フォルダの取得に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_GetTempFolder</p>
4	<p>一時ファイルの取得に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_GetTempFile</p>
5	<p>送信命令ファイル名の作成に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_MakeMisName</p>
100	<p>送信命令ファイル作成情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO</p>
101	<p>相手先情報がセットされていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDNUM</p>
102	<p>相手先情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO</p>
103	<p>FAX 番号が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX</p>
104	<p>送信原稿ファイル、送付状ファイルが指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCorCOVER</p>
105	<p>送信原稿ファイル名が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCNAME</p>

参照モジュール

SFCSSendFaxDef.bas

MakeSendMissionToSharedFolder メソッド

構文

```
Function MakeSendMissionToSharedFolder(SharedFolder As String, // 共有フォルダ
                                       CoverName As String,    // 送付状のファイルパス
                                       FontName As String,      // 送付状のフォント
                                       FontSize As Integer,     // 送付状のフォントサイズ
                                       UserInfo As String,       // ページヘッダ情報
                                       UserID As String,        // 発信元情報 (FAX ID)
                                       Account As String         // アカウント (フリーエリア)
                                       ) as Long
```

解説

STARFAX Server SDK をセットアップしていないパソコンで送信命令ファイルを作成し、FAX 送信を指示します。

送信命令フォルダを各ファイルが相対的に扱えるように、送信命令フォルダを共有設定します。

FAX 原稿、送付状などは送信命令フォルダ内に「作業フォルダ」としてサブフォルダが自動的に作られ、保存されます。

※ FAX 送信処理後は削除されます。

送信時の各種設定は以下のメソッドで行います。

- AddSendInfo / AddSendInfoEx メソッド • AddDocInfo メソッド
- SetDocInfoParam メソッド

引数

パラメータ	値	説 明
SharedFolder	"(絶対パス)"	共有設定を行った送信命令フォルダを指定します。
CoverName	"C:¥Soufujo¥Cover.txt"	送付状のファイルパス
FontName	"MSP ゴシック "	送付状のフォント名を指定 ※初期値：MS ゴシック
FontSize	"10"	送付状のフォントサイズ (初期値：10 ポイント) 8 ～ 72 ポイント内で指定します。 それ以外の数値を指定した場合 10 ポイントで設定されます。
UserInfo	"1, メガソフト株式会社 "	ページヘッダー情報を指定します。 指定方法： "< 記録位置 >, < 差し込む情報 >" 以下の値が設定できます。 • 記録位置 0 : 記録しない 1 : 原稿の内側に記録 2 : 原稿の外側に記録 • 差し込む情報 (最大 70 バイトまで) 以下の値を入力すると、相手先情報が反映されます。 % S : 相手先会社名 % N : 相手先氏名 (敬称は自動で付加されます) % T : 相手先 FAX 番号
UserID	"06 1234 5678"	FAX ID (相手機に通知されます) を設定します。 「半角数字」「半角スペース」「+」を使用できます。 ※最大 20 バイトまで
Account	"0000001"	アカウント 自由に利用できるエリア ログに情報が引き継がれます。任意の情報を入力して、検索するといったことが可能です。

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSENDFAX_SUCCESS
3	一時フォルダの取得に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_GetTempFolder
4	一時ファイルの取得に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_GetTempFile
5	送信命令ファイル名の作成に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_MakeMisName
30	共有フォルダが存在しません SFCSENDFAX_ERR_NoShareFolder
31	共有フォルダに送信原稿フォルダを作成できませんでした SFCSENDFAX_ERR_MakeShareDocFolder
32	共有フォルダに送信原稿をコピーできませんでした SFCSENDFAX_ERR_MakeShareDocFile
33	共有フォルダに送付状をコピーできませんでした SFCSENDFAX_ERR_MakeShareCvrFile
100	送信命令ファイル作成情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO
101	相手先情報がセットされていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDNUM
102	相手先情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO
103	FAX 番号が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX
104	送信原稿ファイル、送付状ファイルともに指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCorCOVER
105	送信原稿ファイル名が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCNAME
120	共有フォルダが指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SHAREFOLDER

■ 参照モジュール

SFCSSendFaxDef.bas

MakeTransFileForMailToFax メソッド

■ 構文

```
Function MakeTransFileForMailToFax(TransFile As String, // 送信命令ファイル
                                   CoverName As String, // 送付状のファイル名
                                   FontName As String,   // 送付状のフォント
                                   FontSize As Integer,  // 送付状のフォントサイズ
                                   UserInfo As String,   // ページヘッダ情報
                                   UserID As String      // 発信元情報 (FAX ID)
                                   ) as Long
```

■ 解説

メール機能を通じて FAX 送信を指示します。(Mail To FAX 機能)

送信時の各種設定は以下のメソッドで行います。

• AddSendInfo / AddSendInfoEx メソッド

■ 引数

パラメータ	値	説 明
TransFile	"Trans.txt"	送信命令ファイル INI 形式で書かれた拡張子 .TXT のファイルで指定します。 ファイル名は必ず「Trans.txt」で指定します。
CoverName	"Cover.txt"	送付状ファイル名 送付状のファイル名を指定します。 ※同名のファイルをメールに添付します。
FontName	"MSP ゴシック "	送付状のフォント名を指定 ※初期値：MS ゴシック
FontSize	"10"	送付状のフォントサイズ (初期値：10 ポイント) 8 ～ 72 ポイント内で指定します。 それ以外の数値を指定した場合 10 ポイントで設定されます。
UserInfo	"1, メガソフト株式会社 "	ページヘッダー情報を指定します。 指定方法： "< 記録位置 >,< 差し込む情報 >" 以下の値が設定できます。 ・記録位置 0 : 記録しない 1 : 原稿の内側に記録 2 : 原稿の外側に記録 ・差し込む情報 (最大 70 バイトまで) 以下の値を入力すると、相手先情報が反映されます。 % S : 相手先会社名 % N : 相手先氏名 (敬称は自動で付加されます) % T : 相手先 FAX 番号
UserID	"06 1234 5678"	FAX ID(相手に通知されます)を設定します。 「半角数字」「半角スペース」「+」を使用できます。 ※最大 20 バイトまで

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSEND FAX_SUCCESS
3	一時フォルダの取得に失敗しました SFCSEND FAX_ERR_GetTempFolder
4	一時ファイルの取得に失敗しました SFCSEND FAX_ERR_GetTempFile

戻り値	説 明
20	送信命令ファイルの作成に失敗しました SFCSENDFAX_ERR_CreateTransFile
100	送信命令ファイル作成情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO
101	相手先数の指定が 0 です。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDDNUM
102	相手先情報が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO
103	FAX 番号が指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX
110	送信命令ファイルが指定されていません。 SFCSENDFAX_ERR_PARAM_TRANSFILE

■ 参 照 モ ジ ュ ール

SFCSSendFaxDef.bas

SetupPrinter メソッド

■ 構 文

```
Function SetupPrinter( Folder As String,    // 作成後に保存するフォルダを指定
                      FileName As String // 作成後のファイル名を指定
                      ) as Long
```

■ 解 説

STARFAX Server SDK プリンタドライバで作成した TIFF ファイルを取得する準備をします。
メソッド実行後に STARFAX Server SDK プリンタドライバに対して印刷処理を行い、TerminatePrinter メソッドで作成された Tiff ファイルを取得します。

■ 引 数

パラメータ	値	説 明
Folder	"C:¥Genkou"	作成した Tiff ファイルを保存するフォルダパスを指定
FileName	"Page1.tiff"	作成するファイル名を指定 ファイル名に「.Tiff」が含まれていない場合、自動的に付加されます。 未指定は、自動的にファイル名が生成されます。 ※例：YYYYMMDDHHMMSS.tiff

■ 戻 り 値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSPRINTER_SUCCESS
1	フォルダが指定されていません。 SFCSPRINTER_ERR_PARAM_Folder
2	指定したフォルダが存在しません。 SFCSPRINTER_ERR_PARAM_NoFolder

戻り値	説 明
10	プリンタドライバ動作設定値 (レジストリ) エラー このメソッドを正常に動作させるには、プログラム実行フラグを 0 にする必要があります。 SFCSPRINTER_ERR_REG_ExecFlag
11	プリンタドライバ動作設定値 (レジストリ) エラー このメソッドを正常に動作させるには、ファイル出力フォルダを指定する必要があります。 SFCSPRINTER_ERR_REG_OutFolder
12	プリンタドライバ動作設定値 (レジストリ) エラー ファイル出力フォルダに指定されているフォルダが存在しません。 SFCSPRINTER_ERR_REG_NoOutFolder
13	プリンタドライバ動作設定値 (レジストリ) エラー ファイル出力フォルダに指定されているフォルダと TIFF ファイルを作成するフォルダが同じです。 SFCSPRINTER_ERR_REG_SameOutFolder
14	プリンタドライバ動作設定値 (レジストリ) エラー ファイル出力フォルダ内のクリアに失敗しました。 SFCSPRINTER_ERR_REG_ClsOutFolder

■ 参照 モジュール

SFCSPrinterDef.bas

TerminatePrinter メソッド

■ 構 文

```
Function TerminatePrinter() as String
```

■ 解 説

SetupPrinter メソッド実行後に、STARFAX Server SDK プリンタドライバで作成した TIFF ファイルを取得します。

■ 引 数

なし

■ 戻 り 値

戻り値	説 明
"C:¥Geokou¥Page1.tiff"	作成された Tiff ファイルを取得しました。
" "	空白 Tiff ファイルの作成が完了していません。(作成途中の可能性あります)
"NG"	SetupPrinter メソッドが実行されていない、または正常に終了できませんでした。

ログの参照と削除

STARFAX Server SDK の未送信ログを参照し、指定したログを削除します。

サンプルプログラム

●保存場所

※下表の「保存する場所」の< OS フォルダ >部分は、お使いの Windows により異なります。

< Windows 8、7、Vista、Server 2012/2012 R2、2008 /2008 R2 >

C:\Users\¥Public¥Documents

< Windows XP、Server 2003 /2003 R2 >

C:\Documents and Settings\¥All Users¥Documents

プログラム	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥MonLog.exe
開発プロジェクト	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥MonLog¥

●サンプルプログラムの仕様

参照	STARFAX Server SDK の送受信、未送信ログを一覧で表示します。 FAX 原稿はダブルクリック、または右クリックメニューの「ビューア」を指定し表示します。
削除	ログの削除は、特定のログを一覧から選択し、右クリックメニューから「削除」を選択します。

●操作方法

① STARFAX Server SDK のサービスを開始します。

➡「セットアップマニュアル」P21

② サンプルプログラム「MonLog.exe」を実行します。

③ ログを参照します。

[1] 更新ボタン

最新のログ情報へ更新します。

[2] ログフォルダ

参照するログを選びます。

[3] ビューアボタン

一覧から選択されたログの原稿を表示します。

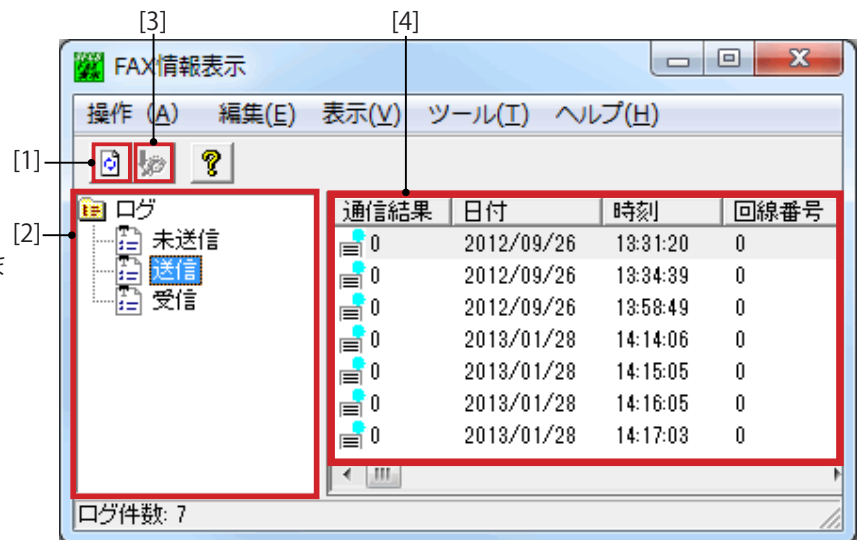
[4] ログ一覧

[2] で選択したログフォルダの結果を一覧で表示します。

④ 削除します。

[2] で参照するログの種類を選択します。

[4] から削除するログを右クリックし、表示されたメニューから「削除」を選択します。



SFCSTLogQue(未送信) SFCSTLogSned (送信) SFCSTLogRecv (受信) コントロール メソッド一覧

メソッド名	詳 細
Load	読み込み
Release	読み込み の終了処理
Reload	再読み込み
GetRecCount	レコード数の取得
GetRecItemString	指定した項目の文字列を取得
GetRecItemInt	指定した項目の値を取得
GetRecComStatus	通信状態を取得 ※ SFCSTLogQue(未送信) コントロールのみ
ResetDelInfo	削除ジョブ ID リスト リセット
AddDelInfo	削除ジョブ ID リスト 追加設定
MakeDelMission	削除命令ファイルの作成

メソッドの仕様

SFCSTLogQue(未送信) SFCSTLogSned (送信) SFCSTLogRecv (受信) コントロールの各メソッドの仕様について説明します。

Load メソッド

■ 構文

```
Function Load( Dlg As Integer // ダイアログの表示 ) as Long
```

■ 解説

ログを読み込みます。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Dlg	SFCSLOG_Dialog_FALSE	処理ダイアログの表示有無を設定します。 ダイアログには、処理状況と中断用の「キャンセル」ボタンが付加。 以下の値を指定できます。 SFCSLOG_Dialog_FALSE (0) 表示しない SFCSLOG_Dialog_TRUE (1) 表示する

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSLOG_SUCCESS
20	STARFAX Server SDK がインストールされていないか、環境設定で各種フォルダが設定されていません。 SFCSLOG_ERR_Install
21	未送信フォルダが存在しません SFCSLOG_ERR_NoQueFolder
22	未送信ログの読み込みに失敗しました。 SFCSLOG_ERR_NoGetQue
23	送信ログフォルダが存在しません。 SFCSLOG_ERR_NoSendFolder

戻り値	説 明
24	送信ログの読み込みに失敗しました。 SFCSLOG_ERR_NoGetSend
25	受信ログフォルダが存在しません SFCSLOG_ERR_NoRecvFolder
26	受信ログの読み込みに失敗しました。 SFCSLOG_ERR_NoGetRecv

■ 参 照 モ ジ ュ ー ル

SFCSLogDef.bas

Release メソッド

■ 構 文

```
Sub Release()
```

■ 解 説

ログの読み込みを終了します。

■ 引 数

なし

■ 戻 り 値

なし

■ 参 照 モ ジ ュ ー ル

SFCSLogDef.bas

Reload メソッド

■ 構 文

```
Function Reload( Dlg As Integer // ダイアログの表示 ) as Long
```

■ 解 説

ログを読み込みます。

■ 引 数

パラメータ	値	説 明
Dlg	SFCSLOG_Dialog_FALSE	処理ダイアログの表示有無を設定します。 ダイアログには、処理状況と中断用の「キャンセル」ボタンが付加。 以下の値を指定できます。 SFCSLOG_Dialog_FALSE (0) 表示しない SFCSLOG_Dialog_TRUE (1) 表示する

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSLOG_SUCCESS
20	STARFAX Server SDK がインストールされていないか、環境設定で各種フォルダが設定されていません。 SFCSLOG_ERR_Install
21	未送信フォルダが存在しません SFCSLOG_ERR_NoQueFolder
22	未送信ログの読み込みに失敗しました。 SFCSLOG_ERR_NoGetQue
23	送信ログフォルダが存在しません。 SFCSLOG_ERR_NoSendFolder
24	送信ログの読み込みに失敗しました。 SFCSLOG_ERR_NoGetSend
25	受信ログフォルダが存在しません SFCSLOG_ERR_NoRecvFolder
26	受信ログの読み込みに失敗しました。 SFCSLOG_ERR_NoGetRecv

■ 参照モジュール

SFCSLogDef.bas

GetRecCount メソッド

■ 構文

```
Function GetRecCount() as Long
```

■ 解説

ログの件数を取得。

■ 引数

なし

■ 戻り値

ログ (送信、受信、未送信) のレコード数

■ 参照モジュール

SFCSLogDef.bas

GetRecItemString メソッド

■ 構文

```
Function GetRecItemString( Rec As Long,           // レコードの番号
                          Item As Integer,        // レコードの項目
                          Get As String           // 文字列を格納するための変数
) as Long
```

■ 解説

ログのレコードと項目を指定し、文字列を取得します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Rec	"0"	レコード番号を指定します。
Item	SFCSLOG_ITEM_SendName	レコードの項目を指定します。
		SFCSLOG_ITEM_SendName (0) 送信、未送信ログ：送信先名称 受信ログ：FAX ID
		SFCSLOG_ITEM_FileName (1) 原稿のファイルパス
		SFCSLOG_ITEM_FaxNumber (2) FAX 番号 ※受信ログにこの項目はありません。
		SFCSLOG_ITEM_FCode (3) F コード
		SFCSLOG_ITEM_Retry (4) リトライを行った回数 ※受信ログにこの項目はありません。
		SFCSLOG_ITEM_Date (5) 送信日付 (YYYY/MM/DD)
		SFCSLOG_ITEM_Time (6) 通信開始時刻 (HH:MM:SS)
		SFCSLOG_ITEM_TotalTime (7) 通信にかかった時間 (HH:MM:SS)
		SFCSLOG_ITEM_TermSpeed (8) 通信速度 2:2400bps 4:4800bps 7:7200bps(V.29) 9:9600bps(V.29) A:7200bps(V.17) B:9600bps(V.17) C:12000bps E:14400bps G:16800bps H:19200bps I:21600bps J:24000bps K:26400bps L:28800bps M:31200bps N:33600bps
		SFCSLOG_ITEM_TermReso (9) 解像度 N: ノーマル F: ファイン S: スーパーファイン
		SFCSLOG_ITEM_TermComp (10) FAX 符合化方 (M:MMRR:MRH:MH)
		SFCSLOG_ITEM_TermSize (11) 用紙サイズ A:A4 B:B4 3:A3
		SFCSLOG_ITEM_TermECM (12) エラー訂正機能 E: 利用する D: 利用しない
		SFCSLOG_ITEM_Page (13) FAX 原稿の総ページ数
		SFCSLOG_ITEM_Return (14) 通信結果のコード (0 → 成功)
		SFCSLOG_ITEM_Line (15) 通信を行った回線番号
		SFCSLOG_ITEM_Acount (16) アカウント
		SFCSLOG_ITEM_JobID (17) ジョブ ID "LYYYMMDDHHMMSSMMM"
		SFCSLOG_ITEM_Company (18) 送信先情報会社名 *1
		SFCSLOG_ITEM_Division (19) 送信先情報所属名 *1
		SFCSLOG_ITEM_Position (20) 送信先情報役職名 *1
		SFCSLOG_ITEM_Name (21) 送信先情報氏名 *1
		SFCSLOG_ITEM_ZipCode (22) 送信先情報郵便番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_Address1 (23) 送信先情報住所 1*1
		SFCSLOG_ITEM_Address2 (24) 送信先情報住所 2*1
		SFCSLOG_ITEM_Telephone (25) 送信先情報電話番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_Fax (26) 送信先情報 FAX 番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_Title (27) 送信先情報敬称 *1
		SFCSLOG_ITEM_FreeArea (28) 送信先情報ユーザ使用 *1
		SFCSLOG_ITEM_Password (29) パスワード
		SFCSLOG_ITEM_UserInfo (30) ページヘッダ情報 *1 "0": 記録しない "1": 原稿の内側に記録 "2": 原稿の外側に記録
		SFCSLOG_ITEM_UserID (31) 自局電話番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_DeIDate (32) 削除日付 (YYYY/MM/DD)
		SFCSLOG_ITEM_DeITime (33) 削除時刻 (HH:MM:SS)
		SFCSLOG_ITEMEX_LineDes (34) 回線指定 *1 N: 指定なし 0: 回線 1 1: 回線 2...
		SFCSLOG_ITEMEX_Priority (35) 優先順位 *1 N: 指定なし 0 ~ F: 0 ~ 15

パラメータ	値	説 明
Get		文字列 を格納するための変数

*1 受信ログにこの項目はありません。

戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSLOG_SUCCESS
10	メモリエラーが発生しました SFCSLOG_ERR_Memory
30	未送信ログが読み込まれていません。 SFCSLOG_ERR_NoLoadQue
31	送信ログが読み込まれていません。 SFCSLOG_ERR_NoLoadSend
32	受信ログが読み込まれていません。 SFCSLOG_ERR_NoLoadRecv
33	指定されたレコード番号は範囲外です。 SFCSLOG_ERR_Record
34	指定されて項目番号は文字列で取得できません。 SFCSLOG_ERR_ItemStr

参照モジュール

SFCSLogDef.bas

GetRecItemInt メソッド

構文

```
Function GetRecItemInt( Rec As Long,           // レコードの番号
                      Item As Integer,        // レコードの項目
                      Get As String           // 文字列 を格納するための変数
                      ) as Long
```

解説

ログのレコードと項目を指定し、文字列を取得します。

引数

パラメータ	値	説 明
Rec	0	レコード番号 (0 ～)
Item	SFCSLOG_ITEM_Return	取得する項目を指定 以下の値を指定できます。 SFCSLOG_ITEM_Retry (4) リトライ回数カウンタ SFCSLOG_ITEM_Page (13) 原稿ページ数 SFCSLOG_ITEM_Return (14) 送受信結果番号 SFCSLOG_ITEM_Line (15) 回線番号 (0 ～)
Get		数値 を格納するための変数

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSLOG_SUCCESS
10	メモリエラーが発生しました。 SFCSLOG_ERR_Memory
30	未送信ログが読み込まれていません。 SFCSLOG_ERR_NoLoadQue
31	送信ログが読み込まれていません。 SFCSLOG_ERR_NoLoadSend
32	受信ログが読み込まれていません。 SFCSLOG_ERR_NoLoadRecv
33	レコード番号の指定が範囲外です。 SFCSLOG_ERR_Record
35	指定されて項目番号は数値で取得できません。S FCSLOG_ERR_ItemInt

■ 参照モジュール

SFCSLogDef.bas

GetRecComStatus メソッド

■ 構文

```
Function GetRecComStatus( Rec As Long,           // レコードの番号
                        GetStatus As Long       // 通信状態 を格納するための変数
                        ) as Long
```

■ 解説

未送信ログに登録されている送信情報の状況を取得します。

※送受信ログでは使用できません

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Rec	0	レコード番号 (0 ～)
GetStatus		通信状態 を格納するための変数 0：送信待ち 1：送信中

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSLOG_SUCCESS
10	メモリエラーが発生しました。 SFCSLOG_ERR_Memory
30	未送信ログが読み込まれていません。 SFCSLOG_ERR_NoLoadQue
33	レコード番号の指定が範囲外です。 SFCSLOG_ERR_Record

■ 参照モジュール

SFCSLogDef.bas

ResetDelInfo メソッド

■ 構文

```
Sub ResetDocInfo()
```

■ 解説

MakeDelMission メソッド実行時の、削除ジョブ ID リストをリセットします。

■ 引数

なし

■ 戻り値

なし

AddDelInfo メソッド

■ 構文

```
Function AddDelInfo( JobID As String            // レコードの番号 ) as Long
```

■ 解説

MakeDelMission メソッド実行時の、削除するレコードのジョブ ID を設定します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
JobID	"2013030110001245"	削除するレコードのジョブ ID

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSLOG_SUCCESS
0 以外	追加失敗

■ 参照モジュール

SFCSLogDef.bas

MakeDelMission メソッド**■ 構文**

```
Function MakeDelMission() as Long
```

■ 解説

MakeDelMission メソッド実行時の、削除するレコードのジョブ ID を設定します。

■ 引数

なし

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSLOG_SUCCESS
1	削除命令フォルダが存在しません SFCSLOG_ERR_NoMisFolder
2	削除命令フォルダの取得に失敗しました SFCSLOG_ERR_GetMisFolder
3	一時フォルダの取得に失敗しました SFCSLOG_ERR_GetTempFolder
4	一時ファイルの取得に失敗しました SFCSLOG_ERR_GetTempFile
5	削除命令ファイル名の作成に失敗しました SFCSLOG_ERR_MakeMisName
10	メモリエラーが発生しました SFCSLOG_ERR_Memory

■ 参照モジュール

SFCSLogDef.bas

送受信ログの追加、削除状況を知る

STARFAX Server SDK で送受信した最新の情報、削除した情報を取得します。

サンプルプログラム

●保存場所

※下表の「保存する場所」の< OS フォルダ >部分は、お使いの Windows により異なります。

< Windows 8、7、Vista、Server 2012/2012 R2、2008 / 2008 R2 >

C:\Users\¥Public¥Documents

< Windows XP、Server 2003 / 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\¥All Users¥Documents

プログラム	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥MonDiff.exe
開発プロジェクト	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥MonDiff¥

●サンプルプログラムの仕様

参照	STARFAX Server SDK の送受信、未送信ログを一覧で表示します。 FAX 原稿はダブルクリック、または右クリックメニューの「ビューア」を指定し表示します。
削除	ログの削除は、特定のログを一覧から選択し、右クリックメニューから「削除」を選択します。

●操作方法

- ① STARFAX Server SDK 環境設定で「通知ファイルを作成する」にチェックを入れます。

➡「ファイル de FAX マニュアル」P14

- ② STARFAX Server SDK のサービスを開始します。

➡「セットアップマニュアル」P21

- ③ サンプルプログラム「MonDiff.exe」を実行します。

追加済み通知に送信、受信した最新の情報が表示されます。

削除済み通知には、「削除」した対象の情報が表示されます。



SFCSLogDiff コントロール メソッド一覧

メソッド名	詳 細
GetRecvAddNoti	受信情報追加済み通知取得
GetRecvRecltemString	受信情報追加済み通知のレコード項目文字列取得
GetRecvRecltemInt	受信情報追加済み通知のレコード項目数値取得
GetSendAddNoti	送信情報追加済み通知取得
GetSendRecltemString	送信情報追加済み通知のレコード項目文字列取得
GetSendRecltemInt	送信情報追加済み通知のレコード項目数値取得
GetRecvDelNoti	受信情報削除済み通知取得
GetSendDelNoti	送信情報削除済み通知取得

メソッドの仕様

GetSendAddNoti メソッド (送信) / GetRecvAddNoti メソッド (受信)

■ 構文

```
Function GetSendAddNoti() as Long
Function GetRecvAddNoti() as Long
```

■ 解説

送信、受信ログの追加済通知ファイルを取得します。

■ 引数

なし

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	通知ファイルがありませんでした SFCSLOGDIFF_GS_NoNoti
1	通知ファイルを読み込みました SFCSLOGDIFF_GS_Get

■ 参照モジュール

SFCSLogDiffDef.bas

GetSendReclItemString メソッド (送信) / GetRecvReclItemString メソッド (受信)

■ 構文

```
Function GetSendReclItemString(Item As Integer,           // 送信ログの項目の指定
                               Get As String              // 文字列 を格納するための変数
                               ) as Long

Function GetRecvReclItemString( Item As Integer,          // 受信ログの項目の指定
                               Get As String              // 文字列 を格納するための変数
                               ) as Long
```

■ 解説

追加済通知ファイルのレコードの項目を文字列で取得します

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Item	SFCSLOG_ITEM_SendName	レコードの項目を指定します。
		SFCSLOG_ITEM_SendName (0) 送信ログ：送信先名称 受信ログ：FAX ID
		SFCSLOG_ITEM_FileName (1) 原稿のファイルパス
		SFCSLOG_ITEM_FaxNumber (2) FAX 番号 ※受信ログにこの項目はありません。
		SFCSLOG_ITEM_FCode (3) F コード
		SFCSLOG_ITEM_Retry (4) リトライを行った回数 ※受信ログにこの項目はありません。
		SFCSLOG_ITEM_Date (5) 送信日付 (YYYY/MM/DD)
		SFCSLOG_ITEM_Time (6) 通信開始時刻 (HH:MM:SS)
		SFCSLOG_ITEM_TotalTime (7) 通信にかかった時間 (HH:MM:SS)
		SFCSLOG_ITEM_TermSpeed (8) 通信速度 2:2400bps 4:4800bps 7:7200bps(V.29) 9:9600bps(V.29) A:7200bps(V.17) B:9600bps(V.17) C:12000bps E:14400bps G:16800bps H:19200bps I: 21600bps J:24000bps K:26400bps L:28800bps M:31200bps N:33600bps
		SFCSLOG_ITEM_TermReso (9) 解像度 N: ノーマル F: ファイン S: スーパーファイン
		SFCSLOG_ITEM_TermComp (10) FAX 符合化方 (M:MMRR:MRH:MH)
		SFCSLOG_ITEM_TermSize (11) 用紙サイズ A:A4 B:B4 3:A3
		SFCSLOG_ITEM_TermECM (12) エラー訂正機能 E: 利用する D: 利用しない
		SFCSLOG_ITEM_Page (13) FAX 原稿の総ページ数
		SFCSLOG_ITEM_Return (14) 通信結果のコード (0 → 成功)
		SFCSLOG_ITEM_Line (15) 通信を行った回線番号
		SFCSLOG_ITEM_Acount (16) アカウント
		SFCSLOG_ITEM_JobID (17) ジョブ ID "LYYYMMDDHHMMSSMMM"
		SFCSLOG_ITEM_Company (18) 送信先情報会社名 *1
		SFCSLOG_ITEM_Division (19) 送信先情報所属名 *1
		SFCSLOG_ITEM_Position (20) 送信先情報役職名 *1
		SFCSLOG_ITEM_Name (21) 送信先情報氏名 *1
		SFCSLOG_ITEM_ZipCode (22) 送信先情報郵便番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_Address1 (23) 送信先情報住所 1*1
		SFCSLOG_ITEM_Address2 (24) 送信先情報住所 2*1
		SFCSLOG_ITEM_Telephone (25) 送信先情報電話番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_Fax (26) 送信先情報 FAX 番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_Title (27) 送信先情報敬称 *1
		SFCSLOG_ITEM_FreeArea (28) 送信先情報ユーザ使用 *1
		SFCSLOG_ITEM_Password (29) パスワード
		SFCSLOG_ITEM_UserInfo (30) ページヘッダ情報 *1 "0": 記録しない "1": 原稿の内側に記録 "2": 原稿の外側に記録
		SFCSLOG_ITEM_UserID (31) 自局電話番号 *1
		SFCSLOG_ITEM_DelDate (32) 削除日付 (YYYY/MM/DD)
		SFCSLOG_ITEM_DelTime (33) 削除時刻 (HH:MM:SS)
		SFCSLOG_ITEMEX_LineDes (34) 回線指定 *1 N: 指定なし 0: 回線 1 1: 回線 2...
		SFCSLOG_ITEMEX_Priority (35) 優先順位 *1 N: 指定なし 0 ~ F: 0 ~ 15
Get		文字列 を格納するための変数

*1 受信ログにこの項目はありません。

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCSLOGDIFF_SUCCESS
10	メモリエラーが発生しました SFCSLOGDIFF_ERR_Memory
30	受信ログが読み込まれていません。 SFCSLOGDIFF_ERR_NoLoadRecv

戻り値	説 明
33	レコード番号の指定が範囲外です。 SFCLOGDIFF_ERR_Record
34	指定されて項目番号は文字列で取得できません。 SFCLOGDIFF_ERR_ItemStr

■ 参 照 モ ジ ュ ール

SFCLogDiffDef.bas / SFCLogDef.bas

GetSendRecItemInt メソッド（送信） / GetRecvRecItemInt メソッド（受信）

■ 構 文

```
Function GetSendRecItemInt(Item As Integer,           // 送信ログの項目を指定
                           Get As Long               // 数値 を格納するための変数
                           ) as Long

Function GetRecvRecItemInt(Item As Integer,          // 受信ログの項目を指定
                           Get As Long               // 数値 を格納するための変数
                           ) as Long
```

■ 解 説

追加済み情報ファイル内のレコード項目を数値で取得します。

■ 引 数

パラメータ	値	説 明
Item	"2013030110001245"	取得する項目を指定します。 以下の値を指定できます。 SFCLOG_ITEM_Retry (4) リトライ回数カウンタ SFCLOG_ITEM_Page (13) 原稿ページ数 SFCLOG_ITEM_Return (14) 送受信結果番号 SFCLOG_ITEM_Line (15) 回線番号 (0 ～)
Get		数値 を格納するための変数

■ 戻 り 値

戻り値	説 明
0	取得成功 SFCLOGDIFF_SUCCESS
10	メモリエラーが発生しました。 SFCLOGDIFF_ERR_Memory
30	送信ログが読み込まれていません。 SFCLOGDIFF_ERR_NoLoadSend
33	レコード番号の指定が範囲外です。 SFCLOGDIFF_ERR_Record
35	指定されて項目番号は数値で取得できません。 SFCLOGDIFF_ERR_ItemInt

■ 参 照 モ ジ ュ ール

SFCLogDiffDef.bas / SFCLogDef.bas

GetSendDelNoti(送信) / GetRecvDelNoti(受信)

■ 構 文

```
Function GetSendDelNoti( GetJobID As String      // 送信ログ削除済みジョブ ID を格納するための変数 ) as Long
```

```
Function GetRecvDelNoti( GetJobID As String      // 受信 削除済みジョブ ID を格納するための変数 ) as Long
```

■ 解 説

ログの削除済みの通知ファイルを取得します。

■ 引 数

パラメータ	値	説 明
GetJobID		削除済みジョブ ID を格納するための変数

■ 戻 り 値

戻り値	説 明
0	通知がありませんでした。 SFCSLOGDIFF_GS_NoNoti
1	通知を読み込みました。 SFCSLOGDIFF_GS_Get
2	通知を読み込みました。別の通知ファイルもあります。 SFCSLOGDIFF_GS_GetAndNext ※この戻り値が返された場合、再度同じメソッドを実行して他の削除済み通知ファイルを取得してください。 状況によって他の削除済み通知ファイルが削除されます。

■ 参 照 モ ジ ュ ー ル

SFCSLogDiffDef.bas

印刷する

STARFAX Server SDK のプリンタドライバを使用して、指定したファイルを印刷します。

サンプルプログラム【PrtFile.exe】

●保存場所

※下表の「保存する場所」の< OS フォルダ >部分は、お使いの Windows により異なります。

< Windows 8、7、Vista、Server 2012/2012 R2、2008 /2008 R2 >

C:\Users\¥Public¥Documents

< Windows XP、Server 2003 /2003 R2 >

C:\Documents and Settings\¥All Users¥Documents

プログラム	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥PrtFile.exe
開発プロジェクト	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥PrtFile¥

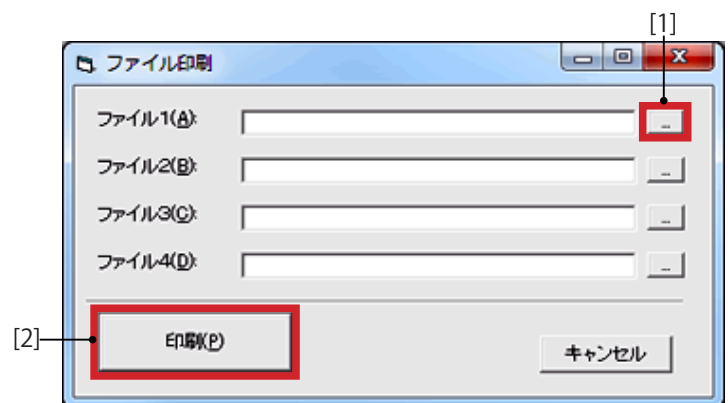
●サンプルプログラムの仕様

必須情報	STARFAX Server SDK のプリンタを事前にセットアップしてください。 ➡「セットアップマニュアル」P11 印刷するファイルを指定してください。
ファイル指定	最大 4 件まで指定可能

●操作方法

- ① STARFAX Server SDK のサービスを開始します。
➡「セットアップマニュアル」P21
- ② サンプルプログラム「PrtFile.exe」を実行します。
- ③ 以下操作します。

- [1] ファイル指定
印刷を行うファイルを選択します。
最大 4 件のファイルを指定できます。
- [2] 印刷ボタン
選択したファイルの印刷を実行します。



SFCSPrtFile コントロール メソッド一覧

メソッド名	詳 細
ResetDocInfo	印刷原稿リストリセット
AddDocInfo	印刷原稿リスト追加設定
MakePrintMission	印刷命令ファイル作成

メソッドの仕様

[SFCSPrtFile] コントロールの各メソッドの仕様について説明します。

ResetDocInfo メソッド

■ 構文

```
Sub ResetDocInfo()
```

■ 解説

MakePrintMission メソッド 実行時の印刷するファイルリストをリセットします。

■ 引数

なし

■ 戻り値

なし

AddDocInfo メソッド

■ 構文

```
Function AddDocInfo(DocName As String // 印刷するファイルを指定 ) as Long
```

■ 解説

MakePrintMission メソッド 実行時の印刷原稿リストに、印刷原稿を追加設定します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
DocName	"C:¥Genkou¥Page01.text"	印刷するファイルのファイルパスを指定します。

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSPRTFILE_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSPRTFILE_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSPrtFileDef.bas

MakePrintMission メソッド**構文**

```
Function MakePrintMission() as Long
```

解説

印刷命令ファイルを作成して、指定したファイルを印刷させます。
印刷するファイルは AddDocInfo メソッドで指定します。

引数

なし

戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSPRTFILE_SUCCESS
1	印刷命令フォルダが存在しません SFCSPRTFILE_ERR_NoMisFolder
2	印刷命令フォルダの取得に失敗しました SFCSPRTFILE_ERR_GetMisFolder
3	一時フォルダの取得に失敗しました SFCSPRTFILE_ERR_GetTempFolder
4	一時ファイルの取得に失敗しました SFCSPRTFILE_ERR_GetTempFile
5	印刷命令ファイル名の作成に失敗しました SFCSPRTFILE_ERR_MakeMisName
100	パラメータエラー: 印刷命令ファイル作成情報が指定されていません。 SFCSPRTFILE_ERR_PARAM_INFO
101	パラメータエラー: 印刷原稿ファイルが指定されていません。 SFCSPRTFILE_ERR_PARAM_DOC
102	パラメータエラー: 印刷原稿ファイル名が指定されていません。 SFCSPRTFILE_ERR_PARAM_DOCNAME

参照モジュール

SFCSPrtFileDef.bas

メールを送信する

STARFAX Server SDK の機能を使用して、メール送信を行います。

サンプルプログラム【SendMail.exe】

●保存場所

※下表の「保存する場所」の< OS フォルダ >部分は、お使いの Windows により異なります。

< Windows 8、7、Vista、Server 2012/2012 R2、2008 /2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents

< Windows XP、Server 2003 /2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents

プログラム	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥SendMail.exe
開発プロジェクト	¥MEGASOFT¥STARFAX Engine¥Sample¥VB6 SP6¥SendMail¥

●サンプルプログラムの仕様

必須情報	STARFAX サービスマネージャのメールサーバー設定を事前に行ってください。 ➡「セットアップマニュアル」P20 「宛先」を指定します。
宛先 / CC	送信するメールの宛先、それ以外に送信する CC のメールアドレスを指定します。
件名 / 本文	送信するメールの件名と本文を指定します。4
添付ファイル	宛先にメールと一緒に送信するファイルを指定します。 最大 2 件まで登録できます。

●操作方法

① STARFAX サービスマネージャのメール設定を行います。

➡「セットアップマニュアル」P20

② STARFAX Server SDK のサービスを開始します。

➡「セットアップマニュアル」P21

③ サンプルプログラム「SendMail.exe」を実行します。

④ 以下操作します。

[1] 宛先※必須

メールの送信先を指定します。

[2] CC

同内容のメールを宛先以外に送信する際に指定します。

[3] 件名

送信するメールの件名を指定します。

[4] 本文

送信するメールの本文を指定します。

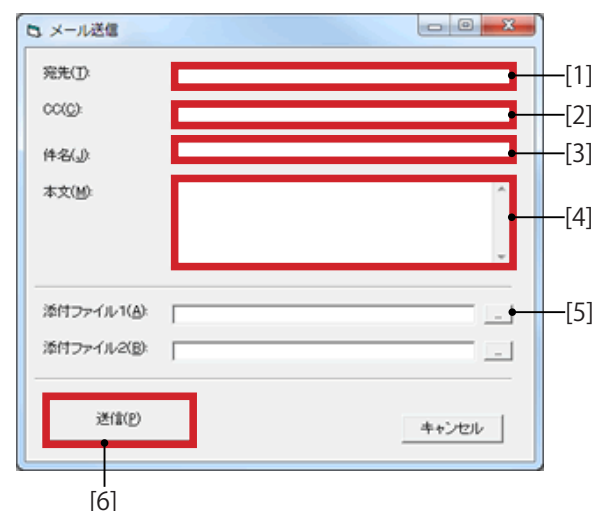
[5] 添付ファイル

メールに付加して送信するファイルを指定します。

最大 2 つまで指定できます。

⑤ [6] の送信ボタンをクリックします。

[1]~[5] で指定した内容でメール送信を指示します。



SFCSSendMail コントロール メソッド一覧

メソッド名	詳 細
ResetToInfo	宛先リセット
AddToInfo	宛先リスト追加設定
ResetCcInfo	CC リセット
AddCcInfo	CC リスト追加設定
ResetAttachInfo	添付ファイルリセット
AddAttachInfo	添付ファイルリスト追加設定
MakeEMailMission	メール送信命令ファイル作成

メソッドの仕様

[SFCSSendMail] コントロールの各メソッドの仕様について説明します。

ResetToInfo メソッド

■ 構 文

```
Sub ResetToInfo()
```

■ 解 説

MakeEMailMission メソッド実行時の宛先をリセットします。

■ 引 数

なし

■ 戻 り 値

なし

AddToInfo メソッド

■ 構 文

```
Function AddToInfo( ToAddress As String // 送信先の宛先 (メールアドレス) を指定 ) as Long
```

■ 解 説

MakeEMailMission メソッド実行時の宛先を指定します。

■ 引 数

パラメータ	値	説 明
ToAddress	"sousin@megasoft.co.jp"	送信する宛先を指定します。 宛先を複数指定する場合は、「,」を間に入れます。

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSENDMAIL_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSENDMAIL_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSSendMailDef.bas

ResetCclInfo メソッド

■ 構文

```
Sub ResetCclInfo()
```

■ 解説

MakeEMailMission メソッド実行時の CC をリセットします。

■ 引数

なし

■ 戻り値

なし

AddCclInfo メソッド

■ 構文

```
Function AddCclInfo( CcAddress As String // 送信するメールの CC を指定 ) as Long
```

■ 解説

MakeEMailMission メソッド実行時の CC を指定します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
CcAddress	"sousin2@megasoft.co.jp"	送信するメールの CC を指定します。 宛先を複数指定する場合は、「,」を間に入れます。

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSENDMAIL_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSENDMAIL_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSSendMailDef.bas

ResetAttachInfo メソッド

■ 構文

```
Sub ResetAttachInfo()
```

■ 解説

MakeEMailMission メソッド実行時の添付ファイルをリセットします。

■ 引数

なし

■ 戻り値

なし

AddAttachInfo メソッド

■ 構文

```
Function AddAttachInfo( AttachName As String // 添付するファイルを指定 ) as Long
```

■ 解説

MakePrintMission メソッド 実行時の印刷原稿リストに、印刷原稿を追加設定します。

■ 引数

パラメータ	値	説 明
AttachName	"C:¥Genkou¥Page01.text"	添付するファイルのファイルパスを指定します。

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	追加成功 SFCSENDMAIL_SUCCESS
0 以外	追加失敗 SFCSENDMAIL_SUCCESS 以外

■ 参照モジュール

SFCSSendMailDef.bas

MakeEMailMission メソッド

■ 構文

```
Function MakeEMailMission(Subject As String,    // メール の 件名 を 指定
                          TheBody As String   // メール の 本文 を 指定
                          ) as Long
```

■ 解説

メール送信命令ファイルを作成します。

実行時の各種動作設定は、以下のメソッドで行ってください。

ResetToInfo メソッド AddToInfo メソッド ResetCcInfo メソッド
AddCcInfo メソッド ResetAttachInfo メソッド AddAttachInfo メソッド

■ 引数

パラメータ	値	説 明
Subject	" 業務連絡 "	件名に表示する内容を指定します。
TheBody	" 本日の日報を添付します "	本文に表示する内容を指定します。

■ 戻り値

戻り値	説 明
0	正常終了 SFCSENDMAIL_SUCCESS
1	メール送信命令フォルダが存在しません。 SFCSENDMAIL_ERR_NoMisFolder
2	メール送信命令フォルダの取得に失敗しました。 SFCSENDMAIL_ERR_GetMisFolder
3	一時フォルダの取得に失敗しました。 SFCSENDMAIL_ERR_GetTempFolder
4	一時ファイルの取得に失敗しました。 SFCSENDMAIL_ERR_GetTempFile
5	メール送信命令ファイル名の作成に失敗しました。 SFCSENDMAIL_ERR_MakeMisName
100	パラメータエラー メール送信命令ファイル作成情報が指定されていません。 SFCSENDMAIL_ERR_PARAM_INFO
101	パラメータエラー 宛先が指定されていません。 SFCSENDMAIL_ERR_PARAM_TO
103	パラメータエラー 宛先アドレスが指定されていません。 SFCSENDMAIL_ERR_PARAM_TOADR
104	パラメータエラー CC アドレスが指定されていません。 SFCSENDMAIL_ERR_PARAM_CCADR
105	パラメータエラー 添付ファイルパスが指定されていません。 SFCSENDMAIL_ERR_PARAM_ATTACHNAME

■ 参照モジュール

SFCSSendMailDef.bas